

# ともに生きる

No.22

平成23年8月発行



後援会長

堤 好 美

東日本大震災で被害を受けられた皆様に心よりお見舞い申し上げます。  
後援会会員の皆様には、平素より後援会活動にご理解、ご協力をいただき誠にありがとうございます。

今年度の後援会会長に就任いたしましたことをご報告申し上げます。微力ではございますが大学と学生の皆様が有意義に、そして充実した学生生活が過ごせるよう、サポートさせていただきます。

後援会会員の皆様のより一層のご理解、ご協力をよろしくお願ひいたします。近畿医療福祉大学は、昨年開設された大阪天王寺キャンパスも2年目を迎える、国際人の育成を目指し積極的な留学生の受け入れにより、異文化理解力を身に付けさせ、国際社会で活躍できる人材を育成されています。

クラブ活動では、さまざまな部が優秀な成績をおさめ、ボランティア活動（ボランティア活動支援センター）への参加にも取り組まれておられます。また、秋には全学生が力を合わせ取組む学園祭「播彩祭」も開催されます。学生の皆様は、授業はもとより、クラブ活動、ボランティア活動を通じ、身体的、精神的に成長されることと思っております。学生の皆様が、近畿医療福祉大学を選んで良かったと感じ、沢山の思い出を残していただきますよう、教職員の方々、後援会会員の皆様方と取り組んでまいります。

最後になりましたが、近畿医療福祉大学の更なる発展を願い挨拶とさせていただきます。





## 後援会の皆様へ

学長  
杉本一義

「光陰矢の如し」、月日は弓の矢が飛ぶように、はやく過ぎ去って行くと言う格言がありますが、お子様が入学されて今頃、どのようなお気持でお過ごしでしょうか。

かけがえのないお子様の大学教育と言う重責を考えます時、ご家族の方々のお心の中、ご心配されておられる事はないだろうかとわが胸に手をあてて、いろいろと考えているところであります。

直接お会いして、対話の一時をと思いますが…

この場をお借りして、福祉系大学の使命に関する、半世紀に及ぶ大学教育におけるさまざまな観察と体験から考え、探究したことの一端を述べさせていただき、皆様がお子様と将来のことを話し合う場合の話の種にして下さればと思い、所感の一端を述べさせていただきます。

さて、現代社会における問題の多い異常な実態に「こころ」を振り向けてみますと…

科学の発達によって、文化は進歩し、世の中は住みやすくなるはずが、逆にかえって住みにくくなっている。現在も、また将来に対しても生命にかかるような不安がある。

その根本原因は、科学や制度そのものには福祉の「こころ」がないからである。人は誰でも幸福を望む。しかし幸福とは個人の幸せのことであり、それは個々に異なり自己中心的である。これに対して福祉とはすべての人、社会全体、国家全体の幸せを意味する用語である。

したがって、一人でも不幸な者が居れば福祉国家とは言えない。それに、その住みにくいこの世を生きる手段として、人々は自分自身の財産や地位を守り、自己防衛に走ることになる。

現代社会における競争原理、そして価値観が多様化し、真理を探求する哲学の貧困化した状態では、科学が発達すればするほど、幸福どころか、人類は絶望、絶滅の一途を辿るほかないのである。この現実問題の根本のところに気付かないところに人類の悲劇がある。

自己防衛に走る人と、他者への思いやりの心、想像性豊かな同情心～真の福祉の「こころ」をもつて、何とかして一人でも不幸な者のいない社会にしようと努力する気持の人との間には、人間としての生き方のうえで天と地ほどの違いがある。

この重要な「福祉」の分野の専門家の養成が、国立大学では行なわれていない（福祉学部、学科がない）のはどうしてだろうか。国でさえ真の「福祉」の探究の重要性に気がついていないのではないか。

本学の学生は、福祉系の大学において、一回限りの人生を幸福から福祉的真実探究への道を歩くという高貴なる教育理念を学び、誇りをもって、しかし謙虚に学生生活を送るよう、お子様と話し合う時の話の種にでもしていただければと思うのであります。

今後ともご支援のほどよろしくお願ひ致します。



## 希望の光、ポスト3・11の福祉

学部長

石田和男

未曾有の震災被害にあわれた東北のかたがたに心よりお見舞い申し上げますとともに、早急な復興を遂げられますことを祈念申し上げます。

震災後4ヶ月して私たちには色々なことがわかり始めています。

戦後奇跡の復興をとげ、世界中から賞賛されてきた日本は、今再び新たな試練に立たされています。

90年代、日本経済はジャパンアズナンバーワンといわれ、アメリカを追い越さんばかりの勢いでした。ところが東西冷戦が収束し、グローバル経済がにわかに沸き起こると、その勢いに陰りが生じ、世に言うバブル崩壊現象が起きました。それにともない、あらゆる分野で社会的ひずみ現象が起きました。産業の空洞化、失業率の拡大、財政赤字の慢性的増大、地域格差の拡大、ニート問題、少子化問題、自殺者の拡大 etc. 取り上げればきりがないほどがありました。政府および地方行政は、これらの問題はいまだに解決の糸口が見つかっておりません。

そんななか、今回の東北地震がきました。そして今までの政策の弱点が洗いざらいさらけ出されたのです。しかし皮肉なことに、それはマスコミや知識人によってではなく、一般市民によってでした。個々の人たちが被災地を訪れ、支援活動に参加して徐々に明らかになったのです。

それは、ある意味で、北アフリカで起こっているフェイスブック革命に匹敵するような、民主革命の始まりといつてもよいかもしれません。人々は思い思いに被災地を訪れ、ボランティア活動をし、実際に何が起きたのか自ら確認する。そのプロセスは新しい知見を生み出します。この知見は何物にも変えがたい宝といえます。

そしてそのことにより福祉の分野に新しい視点が生まれようとしています。それはグローバルな視点から地域の福祉を考えようとしているということです。社会はいつも生命体として生き生きと活動しています。それが、各部分の活動によって支えられ成り立っています。そのことは被災者の支援活動を通して確認されるべきであります。

この震災を通して、わたしたちは今原点に立ち返り、日本の福祉を根本的に考えなおす時期にあるといえましょう。



## 学園祭のお知らせ



播彩祭実行委員会委員長  
間 あやか  
(生活医療福祉学科3年)

はじめまして。第12回播彩祭実行委員会で委員長を務めさせて頂いております、間あやかと申します。

今年は10月22日(土)・10月23日(日)の2日間にわたり『第12回播彩祭～Good time～』を開催いたします。それに伴い、日々努力を重ね少しでも進歩できるよう企画・立案・準備作業に励んでいます。

さて、今回のサブタイトルは『～Good time～』です。年に一度しかない播彩祭が最高の時間になることにより、日本に少しでも元気を取り戻してほしいという想いが込められております。第12回播彩祭が、参加くださった皆様の心に刻まれる2日間となるよう、全力を尽くしたいと思っております。

最後になりましたが、後援会の皆様には多大なるご支援・ご協力を頂き感謝申し上げます。STAFF一同、皆様のご来場を心よりお待ちしております。



## 2011アジアベンチプレス選手権大会 銀メダル受賞！



大会の様子



表彰台で国旗を掲げる藤原さん(左)

藤原のどかさん(生活医療福祉学科介護福祉コース1年生)が、2011アジアベンチプレス選手権大会(8/12～14台湾高雄市で開催)の日本代表選手(ジュニア女子57kg級)として出場されました。8/5には大学教職員・学生有志による壮行会を行い、教職員・学生有志、学友会、後援会、同窓会からの支援金授与を行いました。

試合ではこれまでの大変な練習の成果を十二分に發揮し、見事、銀メダル(記録82.5kg)を獲得しました。

皆様の暖かいご声援ありがとうございました。今後ともより一層のご声援をよろしくお願いいたします。

## 国家試験結果

平成22年度「社会福祉士国家試験」と「精神保健福祉士国家試験」の合格者数は、現役生、既卒者を合わせて社会福祉士71名、精神保健福祉士17名でした。

なお、現役生で社会福祉士と精神保健福祉士のダブル合格者は7名でした。国家試験は難易度が高く大変難しいこともあり、学生自身の学習努力はもとより、ご家族皆様のご理解、ご協力が欠かせません。今後ともご支援のほどよろしくお願い申し上げます。

## 平成23年度 前期クラブ活動概要報告

パワーリフティング部	2011年アジアベンチプレス選手権大会 ジュニア57kg級銀メダル 藤原のどか(生活医療福祉学科介護福祉コース1年)
硬式野球部	近畿学生野球連盟 春季リーグ戦 3部3位 首位打者賞・外野手ベストナイン賞 大西賢士(福祉健康スポーツ学科4年) 一塁手ベストナイン賞 山本大輔(福祉健康スポーツ学科4年)
軟式野球部	近畿学生軟式野球連盟 春季リーグ戦 2部2位(入替戦により1部昇格) 関西学生テニス選手権大会 1回戦
硬式テニス部	関西学生ソフトテニス 春季リーグ戦 6部3位
ソフトテニス部	関西大学バレーボール連盟 春季リーグ戦 6部7位
男子バレーボール部	関西大学バレーボール連盟 春季リーグ戦 4部5位
女子バレーボール部	西日本学生バスケットボール選手権大会 1回戦
男子バスケットボール部	西日本女子学生バスケットボール選手権大会 1回戦
女子バスケットボール部	関西学生サッカー 前期リーグ戦 3部C8位
男子サッカーパー	兵庫県フットサルミドルリーグ 4位
フットサル部	関西学生陸上競技対抗選手権大会 円盤投げ3位
陸上競技部	兵庫陸上競技春季記録会 円盤投げ1位 中山 薫(臨床福祉心理学科2年)
柔道部	関西学生柔道優勝大会 1回戦
弓道部	全日本学生弓道選手権大会 個人戦 決勝進出
剣道部	兵庫県学生剣道大会 3回戦
レクリエーション部	地元レクリエーション協会との交流
ハッピークローバー(部)	地元幼稚園・幼児とのお誕生日会・ハイキング等の補助
吹奏楽部	老人福祉施設、地元幼稚園、病院での慰問演奏、地元樂團との合同演奏
車椅子バスケットボールサークル	名神車椅子バスケットボール競技会 Cリーグ

## お便りコーナー

事務局では会員の皆さまからの『もっとこういうことが知りたい』などのご質問、ご意見、お便りをお待ちしております。またインターネットや携帯電話をご利用のうえ下記E-mailアドレスに送信いただいても結構です。どうぞよろしくお願いします。

発行日：2011年8月28日

発行：近畿医療福祉大学後援会

事務局 教学課 〒679-2217 兵庫県神崎郡福崎町高岡1966-5

TEL (0790) 22-5125 FAX (0790) 22-6941

E-mail:gakuseibu@sw.kinwu.ac.jp